



3年生見学旅行

今日(18日)は、3年生の見学旅行でした。3年生は、熊本市防災センターと優峰園に行きました。防災センターでは、消防に携わる方々の仕事を調べ、その仕事の特色や工夫について理解しました。防災センターでは、地震体験や台風体験など、貴重な体験をしたようです。地震体験では、「震度7はこんなに怖いんだと知りました。熊本地震ではこんな強い地震が2日も続いたんだと思うと、とても怖いと思いました。」「最初は大丈夫だったけど、段々強くなってメガネが外れそうになった。肩を打ったけど、これが家の中でみんなが居なかったら…と思うと怖かった。」台風体験では「風速20mで、周りの音が聞こえづらくなり、息苦しくなった。」など感想を述べています。

また、優峰園では、河内の太陽の恵みをいっぱいを受けて育った美味しいみかんが今年もたくさん実っていました。子供たちは、「みかんの色や大きさが少しずつ違って選ぶのが大変だったけど面白かった。」とみかん狩りを楽しむことができました。また、「大きいみかんは、味が薄くて、中位のみかんを選ぶといいことがわかりました。」と美味しいみかんの見分け方も知ることができました。



4年生見学旅行

4年生も本日見学旅行でした。4年生は、通潤橋や清和文楽館に行きました。通潤橋では、白糸大地にどのようにして水田が開かれたかを資料館で説明を聞きながら理解することができました。実際に通潤橋を目の前にすると「すごい!大きい!」と言っていました。そして、橋の上を恐る恐る歩いてみると「高い!見晴らしがいい!紅葉がきれい!」と歓声が上がっていました。通潤橋は国の重要文化財に指定されていますが、ご存じのとおり、2016年の熊本地震による橋上部の損傷に加え、2018年の豪雨で石垣が崩落するなどの被害を受け、保存修理工事が行われていました。ガイドさんから、5年ばかりといわれていた工事を、今の最新技術で1年8か月で修理したということを知り、子供たちは驚いていました。また、円形分水(通潤橋から約6km上流にある農業用水を分ける施設。中央から水が吹き出し、田の面積に応じて平等に水を分けている。)では、昔の人の知恵に感心していました。

清和文楽館では、間近で見る人形に子供たちは興味津々でした。人形が一瞬にしてにこやかな表情から、険しい表情に変わり、「すごい!」と言っていました。また、人形の指が関節で曲がることを知って、先人たちの工夫に驚いていました。

